

ぶらっと山歩（さんぽ）

（コロナ第3波？・・・不安の中の下見散歩へ）

文と写真：吉野会長

11月3日、県内におけるコロナ感染者数が4ヶ月ぶりに50名をオーバーし、3波襲来！！・・・との記事が目に入って来た。

たしか、官民一体型の消費喚起キャンペーン「Go To トラベル」の開始が7月22日。その僅か1週間後に兵庫県は初めて50名の感染者を記録し、第2波到来であったと記憶する。コロナに限らず、インフルエンザなど、ウイルスの蔓延は寒い冬場だ！と高を括っていたが、7都府県に緊急事態宣言が発令された4月からすると、盛夏で猛暑日の続く7月後半～8月後半にも拘わらず、感染者数はうなぎ上りとなり、不気味な不安を抱えていた・・・。

10月1日(木)、飲食店を救済するための「GoTo イート」が始まったが、感染者は30名前後で推移していたのでそう気にしていなかった。



再度公園入口駐車場にて

そんな中、兵岳連のメイン行事として行っている「六甲合同登山」の準備はすべて完了し、22日の本番を残すのみとなっていた・・・。

11月9日（月曜日）の午後、時間が出来たので当日のコース中の紅葉スポットの下見に出向いた。

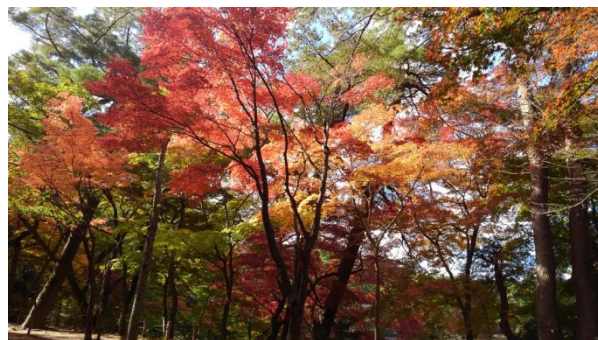
100名を超える参加予定の為、新神戸集合ではあまりに目立つため、随時移動して頂き、最初のスポットである「徳光院境内」を

スタートすることを考えていた。境内は毎朝通る道であるが、早朝の4時半は未だ真っ暗であり、紅葉具合が分からなかったが、この時点では少し早い感じであった。

貯水池を超え市ヶ原まで入って行くと、徐々に色好きが目にとまって来た。蛇ヶ谷の紅葉は、周りにある木々の背が高いため、光を求めて背伸びしてきたのかどの木も伸びすぎ、紅葉観賞の趣が無くなったように感じる。車道のトンネルを潜り、左側へ行くと公園の入口となり、最初の駐車場が右にあって一気に紅葉が目飛び込んで来た。



駐車場から修法ヶ原方面への道



修法ヶ原の池の南側の紅葉ビューポイント



修法ヶ原の池の南側の紅葉ビューポイント

近年温暖化の影響を受け、紅葉の見頃が11月も下旬となってきたのだが、今年は少し様子が違う。このぶんだと、本番当日まで2週間近くあるので、はたしてこのまま持ちこたえてくれるだろうか？・・・少し心配になって来た。



紅葉した紅葉の絨毯（じゅうたん）

修法ヶ原の池を囲んだ公園内は、見頃を知ってか知らずか？かなり多くの方が来られており、思い思いの場所から美しい景色をカメラに収めておられた・・・。

洞川湖へ通ずるハイキング道もかなりの紅葉で、黄色に染まった木々も交じり、素晴らしい装いだ。



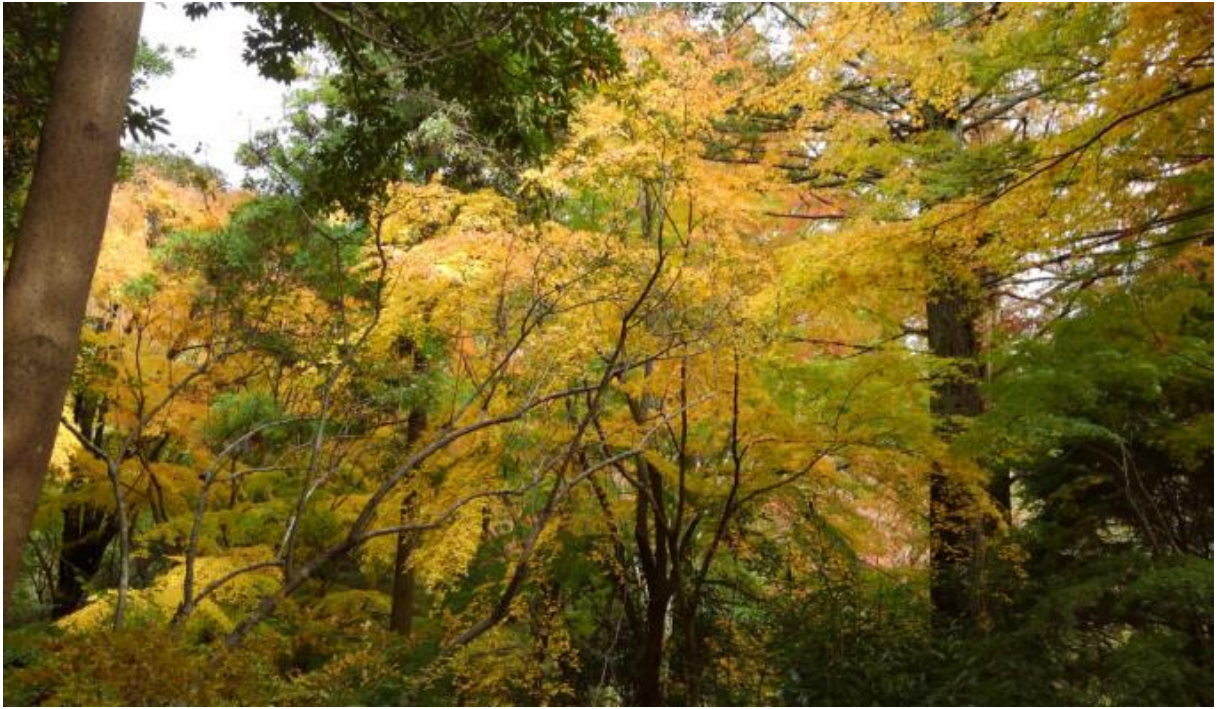
学習の森へ入ると、紅色から黄色、つまり、カエデやもみじの紅葉（こうよう）から、カツラやクヌギなどの黄葉に一変した。

この場所はかつては子供達が、多くの植物に触れ、学ぶことが出来た教育植物園として脚光を浴びていた場所であったが、今は手入れもほとんどされてなく、少し寂しいが、静かな憩いの場所として好きな所だ・・・。

午後からぶらっと出て来たので、ゴールとなる植物園はカットし、下山を急いだ・・・。



再度公園の紅葉（こうよう）スポットにて



学習の森の黄葉した景色

2020年11月9日 午後

万が一こんな風景を見ることが出来なかったら、ヒヨコの皆さん、この写真でご信望願います。